R7せんだい若手勉強会通信

担当
田中（4年目）
太田（3年目）
遠藤（3年目）

Vol. 4　**河川の訓練や事業について学習しました！**

◆　オイルフェンス設置訓練に参加しました！

➢　阿武隈川下流では、水質事故対応演習（オイルフェンス設置訓練）が阿武隈大堰右岸上流で実施されました。オイル フェンス設置にかかる一連のプロセスを学ぶと共に、水質事故への応急対応についても学習し ました。消防署の指導のもと、オイルフェンスを柵に結ぶための「ロープ結び」からオイルフェンス の「繋ぎ合わせ」、「送り出し」、「展張」を実施することで、手順・注意点を確認することができました。

➢　なお、油処理資材のメーカーによる吸着フェンスや吸着マットを使った応急対応の説明・実演をしていただきました。冬季では、灯油漏れや自動車の事故によるガソリン漏れ等の事故が多発することから、事故防止だけでなく、油種の違いによる適切な処理も必要となることを学びました。

◎オイルフェンス設置訓練とは・・・
油漏れ事故を想定した訓練であり、河川に油が流出した際に、油の拡散を防ぐために『オイルフェンス』を設置する訓練です。

▲　オイルフェンスの繋ぎ合わせ

▲　オイルフェンスの送り出し

▲　ボートによる展張作業

◆　閖上地区かわまちづくり事業を見学しました！

➢　名取川河口部右岸にて、「閖上地区かわまちづくり事業」の見学会を開催しました。
閖上地区かわまちづくりは令和3年度『かわまち大賞』を受賞している事業であり、かつて港町として栄えていた閖上地区の震災からの復興と新たな河川空間のにぎわいの創出をテーマに、国・市・民間が連携して取り組んだ事業となっています。

➢　見学会では、新たに整備された海岸堤防・河川堤防の構造や、閖上地区防災ステーションの役割について、管轄している名取川出張所の若手職員が説明を行いました。見学会の参加者は河川事業を担当したことがない職員でしたので、官民連携による「閖上かわまちテラス」周辺の整備内容や、堤防の応急復旧に使用する資材について理解できたと感想をいただきました。

▲　事業で整備された商業施設「閖上かわまちてらす」

▲　閖上地区防災ステーション

▲　新たに整備された堤防について説明する様子

～ひとこと～

今回の見学会では、若手職員が説明者となり、自身が担当している業務の内容紹介を混ぜながら河川事業についてわかりやすく、他若手職員へ説明することができました。説明者の立場で感じたこと、学んだことは今後の業務及び職員人生に活きる良い機会となりました。

オイルフェンス設置訓練では実際の事故発生時を想定し、参加者全員と協力し、災害時の役割や動きをしっかりと体験し、肌で感じることができました。